

2024 年度歴史地震研究会 第 1 回幹事会議事録

場所: オンライン会議

日時: 2024 年 8 月 13 日 (金) 15:00~18:15

出席者: 佐竹(会長), 蝦名(副会長), 松浦(行事), 塩川(次期行事), 石辺(財政), 加納(編集出版), 室谷(広報), 諸井(監査), 植竹(監査), 大邑(総務)

1. 入退会者の承認及び 2023 年度 2024 年度会費受取状況 (2024 年 6 月 14 日~2024 年 8 月 13 日) (財政)

- ✓ 新規入会者 1 名, 2023 年度末退会者 5 名, 2023 年度末休会者 0 名, 休会・除名からの復活 1 名, 2023 年度会員特典停止からの復活 3 名 →承認 (現会員総数 244 名)
- ✓ 2023 年度の会員総数の変遷について報告: 2022 年度末会員数 246 名に対し, 2023 年度末(2024 年 7 月 31 日時点)の会員数は 244 名(新規入会 9 名、退会 10 名、休会 0 名、復会 1 名、会員特典停止 10 名、復活 8 名)
- ✓ 会員総数に計上される会員は「特典を有している会員の数」であることを確認
- ✓ 登録内容変更 2 名
- ✓ 2023 年度会費受取状況 254 名
- ✓ 2024 年度会費 113 名(未納 131 名), 2025 年度会費 3 名

2. 2023 年度決算・2024 年度予算案について説明 (財政)

- ✓ 2023 年度決算報告: 収入総額は予算額 4,720,185 円に対し、決算額 5,212,686 円となり、予算額より 492,501 円の増加となった。支出総額は予算額 1,470,000 円に対し、決算額 1,028,198 円となり、予算額より 441,802 円の減少となった
- ✓ 次年度繰越金は合計 4,184,488 円
- ✓ 会計監査役からは、領収書類の確認が必要であること、および寄付者へのお礼状の送付状況について確認の要望があった
- ✓ 2024 年度予算案: 収入総額は 4,936,488 円の見込み。支出総額は 1,523,000 円の見込み。
→ 承認

3. 総会資料の確認

- ✓ 総会の資料について内容を確認, 修正
- ✓ 議長の依頼について確認

4. 木曾御嶽大会の準備について

- ✓ 準備状況について報告と議論
- ✓ 参加申込者は 73 名、講演申込は 36 件 (うちポスター 10 件)
- ✓ 懇親会参加者は 48 名、巡検参加者は 40 名
- ✓ 発表プログラムはほぼ完成
- ✓ 発表用パネルには画鋏の使用が禁止
- ✓ 古い備品 (ディスプレイ分配器など) の整理と、不要品の処分について検討
- ✓ 主催者としての賠償責任保険に加入することが決定
- ✓ 巡検参加者に対する旅行保険は学会ではかけず、各自での加入を周知する方針
- ✓ 要旨集については全原稿が集まり PDF 版の作成は完了している (早期配布はせず大会の約 1 週間前に PDF 形式のみで配布する方針)
- ✓ ほかに 2025 年大会 (第 42 回歴史地震研究会) の準備について検討

5. 「歴史地震」39号の編集について（編集出版）

- ✓ 最終的な発行部数は420部（当初の報告では262ページだったが総ページ数は264ページ+口絵3ページ）
- ✓ 次号（第40号）に向けて、編集継続中の原稿が1件
- ✓ カラー口絵代や超過頁代については、今後著者へ連絡
- ✓ 発行時の会費納入済み会員248名と、大学・公立図書館等への無償送付先123箇所（合計371箇所）に送付
- ✓ 印刷・製本費は1冊あたり1,640円で、総額688,800円
- ✓ 印刷・発送代の総費用は、予算の855,000円に対し、950,411円（振込手数料含む）
- ✓ 著者からの追加購入分については、会員は1冊2,000円、非会員は1冊5,000円に値上げ（この価格は第38号以降のバックナンバーに適用）
- ✓ 既に旧価格で追加購入を申し込んでいる著者に対しては、新しい価格で再確認を行う
- ✓ 要旨集のバックナンバーは1,000円のまま
- ✓ PDFの要旨集は頒布しないことを確認（必要な場合は会誌を頒布）
- ✓ 編集規定の改訂について「会員以外からの投稿も適宜受け付ける」という条項（第3条）が削除された（2025年発行の第40号から適用）
- ✓ 宛先不明等で印刷所に戻ってきた会誌については、今月末に担当者（加納）から印刷所に問い合わせを行い、担当者（松浦）へ送付し、再度住所を確認して発送する予定
- ✓ 会誌発送後に会費を納入した会員向けの発送については、担当者（大邑）が会誌を預かりメール便を利用して発送する予定
- ✓ 原稿の標準書式やチェックシートの整備を検討

6. 広報活動について（広報）

- ✓ メーリングリストの管理：mushaは個別の確認により不達が解消
- ✓ mem_hesは前回以降の新規登録5、連絡不能5、連絡先不明8、会員特典停止中で連絡先不明4
- ✓ 年度末に除名となった会員を含め再確認しリストを整備する予定
- ✓ 会誌発送時に同封した案内による会員情報登録フォームからはまだ10件程度（多くはないものの案内文面を変更した効果はあった）
- ✓ ホームページの英語表記“Historical”のHが大文字に修正
- ✓ 38号のPDF版がホームページに掲載
- ✓ 著作物使用許諾申請書の掲載について特に問題がなければ公開される予定（「資料や図等の著作権は歴史地震研究会が保有しないものについては、権利保有者にお問い合わせください」のように、「著作権」ではなく「権利」という表現を使用することを確認）
- ✓ 『歴史地震』バックナンバーの在庫数の更新を予定
- ✓ 日本地震学会の「日本付近のおもな被害地震年代表」へのリンクは現在存在しないため削除
- ✓ サイトマップの作成と『歴史地震』総目次の更新は9月の研究会までに完了を目指す
- ✓ 総目次のファイルは加納委員長がPDF化して提供
- ✓ webmaster宛メールへの対応について報告
- ✓ 大会の案内について各学会に告知

7. その他

- ✓ 功績賞授賞式は2024年9月13日（金）に開催
- ✓ 賞状の文面については、横書きの書状として体裁を整えるため、「第7回」などの数字を算用数字にすることを合意
- ✓ 受賞者の交通費（招待）は後から受賞者に支払い、参加費・宿泊費・懇親会費は研究会から支払うことを確認。これらの会計処理は功績賞関連費としてまとめられ来年度の会計とする。

- ✓ 2025 年豊岡大会について現在の予定を確認
- ✓ 2026 年大会については昭和南海地震 80 周年にあたり開催地候補の検討をおこなう

○次回幹事会は大会後の予定（オンライン開催）

以上